



第29号
令和6年3月28日発行
朝日庄内森林生態系保全センター
〒997-0404
山形県鶴岡市下名川字落合3
TEL: 0235-58-1730
FAX: 0235-58-1731
E-mail: t_syounai_f@maff.go.jp

HPは下記QRコードへ



第一回朝日自然塾初夏の大井沢で自然体験！大井沢で1日昆虫博士

令和5年7月8日（土）に西川町大井沢区にて、2組4名で実施しました。

当日は、大粒の雨の降るあいにくの天気の中でしたが、西川町大井沢区、西川町自然と匠の伝承館の協力を得て開催しました。

最初に、講師から標本観察と昆虫の面白いお話を聴きました。さらに、飼育されている生きた昆虫も登場。これには、お子さんたちも大喜び。夢中で観察していました。午後は、自然博物館見学をしました。里山の自然にはどのような楽しさがあるのか知ってもらえたようで良かったです。

参加いただいた皆さん、雨の中、本当にありがとうございました。里山の自然を楽しむ機会になれたら幸いです。



クワガタムシの標本観察



ヒキガエル



庄内金魚とメダカの観察



集合写真

第二回朝日自然塾みんなで行こうタキタロウへの道(六十里越街道)

令和5年7月12日(水) 鶴岡市立あさひ小学校の大鳥自然教室として5年生児童18名、教職員4名、スタッフ11名、総勢33名で実施しました。

出羽三山の自然を守る会講師の方より安全に登山するためのお話、準備体操のあと、梅雨時期で天気が心配されるなか、児童達は元気に出発です。

コース全線がほぼ上りの六十里越街道を蟻腰坂～細越峠～ザンゲ坂などのいくつもの難所を通り、お互い励まし合って、湯殿山神社鳥居を目指します。蟻腰坂の急坂を上り、弘法茶屋跡や龍神フナ、国道112号線のスノーシェッド上部を通り、ラフラフナ、千手フナを見て、小搦抜、大搦抜を通過して昼の休憩地点細越峠でお昼ごはんです。昼食後ゴールの鳥居までは、下る箇所や橋もあり、登るとき以上に慎重に歩いていきます。バスの待つ湯殿山神社駐車場に戻ってきたときには、さすがにみんなお疲れの様子でした。今日のこの一日で、自然の楽しさ、厳しさ、そしてその動きなど、普段の教室では学べないことを、感じ取ってくれたら幸いです。

最後に、出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟及び庄内森林管理署の方々にスタッフとして、ご協力いただき大変ありがとうございました。



雨が降り始める



慎重に橋を渡る



ザンゲ坂



龍紙フナ前



湯殿山神社鳥居の前で記念撮影

あさひ小学校5年生が広葉樹更新補助作業を実施

7月13日(木)鶴岡市あさひ小学校5年生18名が、朝日山地森林生態系保護地域内(保全利用地区)でスギ人工林から天然生林へ誘導するための補助作業として、スギの伐倒・枝払いを行いました。

「朝日の豊かな自然や文化に親しむ」等をねらいとして、あさひ小学校では森林生態系保護地域で森林保全活動を行っています。6月20日(火)には、大鳥池登山の説明とともに森林・森林の働きや森林の整備について事前学習を行いました。

当センター職員が、作業前に森林整備の必要性、作業手順、安全に作業するための注意事項を説明し、立木を手鋸で伐倒するので、いつも以上に集中力が必要なことから、児童達は真剣に聞いていました。

庄内森林管理署からも応援をいただき、6班編制で各班1本間伐します。受け口作りから始めますが、斜めの線と水平の線を一致させることに苦勞しました。挽いても挽いてもなかなか倒れません。体力の限界に達したら交代しながら、遂に伐倒、小さな木ですが、木が倒れる時の音、迫力にちょっとビックリしていました。

林床に光りを当て、実生による更新や稚樹が成長しやすいように、枝を払い、幹を玉切りしました。伐倒木の小片は自分や家族へのお土産に、コースターを取る子や枝付きの部分を取る子など様々です。

鶴岡市朝日地区は森林率が高い地区ですが、普段暮らしている場所の上流にある森林で、作業を行ったことは、自分達が暮らしている地域を知るよい機会になったことと思います。



幹を玉切り中



伐倒した後の株を観察中



輪切りを切り出し中



森林整備作業中



記念撮影!

第三回朝日自然塾フコが教えるイワナ釣り

朝日自然塾「フコが教えるイワナ釣り」は、7月22日(土)に鶴岡市大島の東大島川で、10組22名が参加してくれました。

山形県渓流釣り協議会会長より、安全に楽しく渓流釣りを行うためのお話の後、梅雨明けの曇りの中、4班に分かれ渓流釣り開始です。曇りのため、参加者の体調には、注意をしながら、渓流釣りやタキタロウ館前の釣り堀池に移動して、イワナ・ニジマス釣りに挑戦しました。

思いのほか強い竿の引きに、あちらこちらで歓声を上がりながら、釣り上げていました。

釣った魚は、講師の指導を受けると、自分たちで上手にさばく子も居ました。自分たちで釣って、さばくことで食と命の関係の一端を知ってもらえたようでした。

お昼時には、焼いたイワナの炭火焼きを口いっぱいほおぼっていました。おいしいと毎年大好評です。

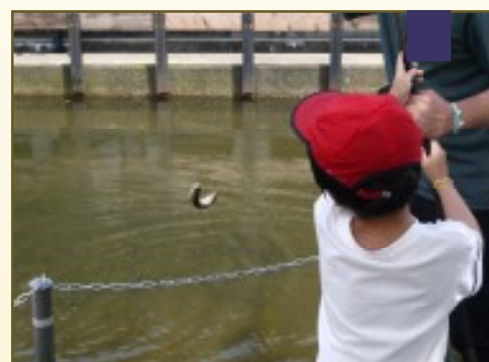
午後は、過密にならないように、注意しながら、世界で一つのオリジナル毛針作り等を楽しみました。

世界に一つだけの毛針作りは、講師がいかにしてイワナを上手にだますか、水生昆虫や陸生昆虫の生態、イワナの習性等の話を変えながら、マンツーマンで作っていきます。釣り堀で、イワナ釣りやフライフィッシングにチャレンジを行い、その後、「イワナに関するおきの話」として貴重な体験談やイワナと森林の関係などを講師から教わり、イベントを終了しました。

最後に、今回の朝日自然塾では、山形県渓流釣り協議会、鶴岡市朝日庁舎及び庄内森林管理署の皆さんに、ご協力いただき大変ありがとうございました。



渓流釣り体験



釣り堀で釣り体験



渓流釣り体験



フライフィッシング体験



さばき方体験



記念撮影

第四回朝日自然塾森に入って森の営みを探そう

朝日自然塾「森に入って森の営みを探そう」は、10月16日(月)に小国町扇平国有林にて、基督教独立学園の生徒を対象に、置賜森林管理署の協力も得ながら開催しました。

令和元年度に、この企画は始まりましたが、2年度及び3年度はコロナ禍のなか中止を余儀なくされましたが、令和4年度、令和5年度と3回目の実施となりました。

当日は、天気も良く、生徒の参加は4名でしたが、国有林の現場を活用し植生について学んだ後に、立木の樹高(トゥルーパルス測定)、幹の太さの測定(輪尺)、材積の測定(おみとおし)を利用した森林の蓄積把握について実際の作業を行いました。

最後には、置賜地域における熊剥ぎの現状を知ってもらうため、熊剥ぎ防止テープを巻く作業を実際に体験して、日程が終了しました。

参加した生徒の皆さんには、森林について、非常に強い関心を持ち積極的に質問をしていました。

今後も自然に対して強い関心を持っていただけるように願うとともに、この取り組みについても継続していきたいと思えます。

最後に、今回の朝日自然塾では、参加していただいた基督教独立学園の皆さん、協力していただいた置賜森林管理署の皆さんには、大変ありがとうございました。



樹高測定中



熊剥ぎ防止テープ取付作業中

西荒瀬保育園「みどりの保育園」推進事業への講師派遣

朝日庄内森林生態系保全センターでは、例年みどりの保育園推進事業として、4月「きのこの駒打ち」、5月「クロマツ探検隊」、12月「松ぼっくりクリスマスツリー」と題し、西荒瀬保育園へ職員を派遣を行いました。



きのこの駒打ち



クロマツ探検隊



松ぼっくりクリスマスツリー

山形大学農学部学生と試験地の植生調査

当センターでは、朝日山地森林生態系保護地域保全利用区域内にあるスギ人工林を針広混交林に誘導する取組を実施しています。

8月30日(木)に山形大学農学部菊池准教授並びに学生7名と庄内森林管理署の職員の協力を得て、植生調査を実施しました。

調査は、天然生林に誘導するために必要・効果的な作業を検証するため、下刈・つる切り・除伐の有無による広葉樹の成長(樹高、胸高直径)・枯損、樹種・生活型の変化(被度)を記録しています。

現段階では、設定後の期間が短いため、作業種の違いによる大きな変化は見られていませんが、今後も推移を継続調査していきます。



直径を測定

オオハンゴンソウの除去作業

オオハンゴンソウは、「生態系、人の生命もしくは身体または農林水産業に被害を及ぼす外来種」である特定外来生物に指定されています。

大量の休眠種子による土壌シードバンクの形成や地下茎からの茎の叢生により強い繁殖力があり、駆除が困難で他種を駆逐し、優占してしまい在来植物に大きな影響を与えています。

保全利用区域の林道沿いの空き地に限定的に生育しており、平成30年度より除去作業を行っています。

より効果を高めるため、今年度も雪解け後栄養を十分に蓄積する前と思われる5月27日(土)に除去しました。



オオハンゴンソウ除去作業

大鳥池への登山コースのショートカット規制

幻の魚タキタロウが棲むと言われる大鳥池は、7十等の巨木の森を通して、3時間程度で登れる気品あふれる山上湖です。

朝日山地の北の名峰以東岳に通じ、縦走ルートにもなっており、登山者の多い主要ルートの一つとなっています。急斜面になる箇所では、つづら折りの歩道になっており、ショートカットして法面を歩行することを規制するため、本格的な登山期の前にトラロープと標識を設置しています。



ショートカット規制作業

以東岳合同パトロール及びオツボ峰植生保護作業

令和5年9月23日(土)～24日(日)にかけて、以東岳合同パトロール及びオツボ峰植生保護作業を実施しました。

以東岳に至るオツボ峰は風衝地であるため、植生が脆弱で、登山者の踏圧による植生の後退が非常に懸念される場所です。当センターでは、植生地への立入りを規制するため、ロープと鋼杭を設置する作業を実施しております。

今回はオツボ峰植生保護作業を、合同パトロールと兼ねて実施しました。協力いただいた皆さんのおかげで、作業は非常にスムーズに進みました。また、ゴミの投棄や高山植物の盗掘等の異常も見られませんでした。

朝日センターでは、今後も関係団体の皆さんの協力をいただきながら、朝日山地の貴重な生態系を保全するため取り組んでまいります。



マナーガイド配布

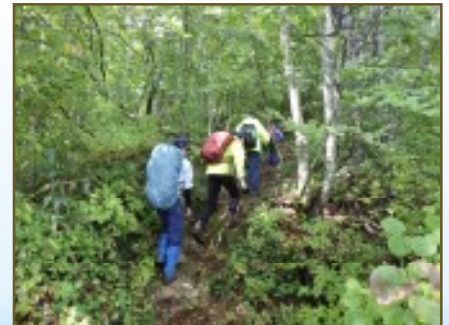


植生保護作業

長井葉山合同パトロール

令和5年10月7日(土)葉山森林公園から白兔コースを登り葉山山荘、勸進代分岐から勸進代コースを通り葉山森林公園へ戻る周回コースで合同パトロール実施しました。ゴミの投棄や高山植物の盗掘等の異常も見られませんでした。

朝日センターでは、今後も関係団体の皆さんの協力をいただきながら、朝日山地の貴重な生態系を保全するため取り組んでまいります。



登山道をパトロール

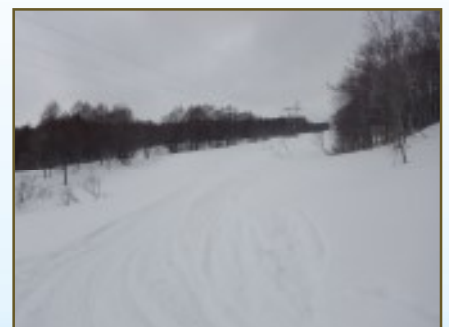
スノーモービル乗り入れ規制パトロール

月山周辺域へのスノーモービルの乗り入れは、自主ルール「月山特別ルール」に則り、国立公園特別保護地区、森林生態系保護地区への乗り入れ禁止、乗り入れ地点の限定、樹木の損傷禁止等自然環境の保護等を行いながら利用しています。

ルール、マナーの遵守状況、鳥獣、自然環境への影響の有無等を確認するため、関係機関と連携しながらパトロールを行っています。

R5 シーズンは、3月19日入山式を行い、3月25日、4月13日、21日に合同及びセンター単独でのパトロールを行いました。

樹木の損傷、乗り入れ自衛区域への乗り入れ等の問題行為は、確認されませんでした。



乗り入れ区域内の走行跡

当センターが主催または事務局を務める会議についてお知らせします。

- (1) 東北森林管理局保護林管理委員会朝日山地森林生態系保護地域部会
4年ぶりに対面方式での実施（令和5年6月16日（金））



会議風景



会議風景

- (2) 朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（春季）
対面方式で人数制限の中開催で実施（令和5年6月24日（土））



会議風景



会議風景

- (3) 朝日山地森林生態系保護地域 巡視員会議（秋期）
対面方式で人数制限の中開催で実施（令和5年11月25日（土））



計画課長挨拶



会議風景

- (4) 朝日自然塾連絡協議会
対面方式開催で実施（令和6年1月19日）



森林整備部長挨拶



会議風景